

主な環境学習事業の平成30年度実績及び平成31年度実施予定

資料2

区分	事業名	事業概要	平成30年度実績	平成31年度予定
1 各主体向け取組				
(1) 各主体共通事業	エコリンクあいち (Webサイト) の運営	エコアクションに関する学習、情報発信などができるWebサイト「エコリンクあいち」を活用して、県民の環境意識の向上を図る。	アクセス件数 23,616件 (2月末)	—
	愛知県環境学習等行動計画2030実践事例集の作成・活用	愛知県環境学習等行動計画2030に掲げた学びを行動につなぐために一人一人に身につけることが望ましい「五つの力」を育む環境学習等の普及を図る事例集を作成する。	作成部数 6,300部	—
		上記事例集を活用し持続可能社会形成に向けたセミナーを開催する。〈新規〉		事業者・地域コミュニティ向け 1回/年
	流域モニタリング一斉調査	水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」(H19.7作成)の調査を行う。	104団体、のべ160地点、延べ937人参加	6月5日(環境の日)から9月末まで
	全国水生生物調査(環境省及び国土交通省の事業、水大気環境課が県内分を取りまとめ環境省へ報告、S59～)	身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに環境教育や学習の場として、広く水環境保全の普及啓発を図る。	97団体、131地点、77河川、のべ3,326人が参加(主として小中学校が実施)	6月から9月まで
(2) 家庭(県民)向け	エコアクション推進フェアの開催	NPO、企業等の環境活動の成果発表等を中心とする県民参加型のイベント「Let'sエコアクション in AICHI」を11月頃に開催する。	11/17(土)-18(日) 場所:アスナル金山 来場者数:15,010人	11月頃 場所:—
	三河湾大感謝祭	三河湾の環境再生に向けた取組の機運を高める「三河湾環境再生プロジェクト」のさらなる推進に向け、多くの人々に三河湾にもっと関心をもってもらうことを目的に「三河湾大感謝祭」を開催する。	開催日:10/28(日) 場所:蒲郡市民会館 参加者:約6,000人	秋頃に三河湾沿岸施設にて開催予定
	未来へつなぐ「国連生物多様性の10年」せいかりレー	国内の生物多様性保全の取組成果を取りまとめる全国リレーイベントの第1回を開催し、多様な主体による取組成果を広く発信する。		2020年1月(2日間)、名古屋国際会議場で開催
	いらごさららパーク自然観察サポーター	伊良湖休暇村公園施設に自然観察サポーターを配置し、施設の魅力発信や来場者に対する園地の紹介・解説を実施する。	述べ48日間、103人(2月末)	延べ52日間
	生物多様性セミナー	NPO等との協働により、地域の自然環境に触れる体験型セミナーを開催する。	西三河、尾張、海部で開催 3回、計148名	県内3地域(新城設楽、知多、海部)で開催
	あいち低炭素社会づくりフォーラム	12月の地球温暖化防止月間の取組の一つとして、自動車環境の改善やCO2の排出抑制に積極的に取り組む事業者への認定証の授与を行うとともに、地球温暖化対策に関する講演やトークセッション等を行う。	12/21(金) 場所:愛知芸術文化センター 来場者数:約200名	12月 場所等未定
	EV・PHV・FCV普及加速フォーラム	持続可能な低炭素社会に向けたEV・PHV・FCVの普及のあり方をテーマとした基調講演や取組発表、パネルディスカッションを行う。		2～3月 500名程度
	三河湾環境再生体験会	干潟の生きもの観察や干潟の保全体験により、干潟の役割や大切さを知り、三河湾の里海再生への関心を高める。	開催日:8/25(土) 場所:西尾市東幡豆海岸 参加者:40人	夏頃に三河湾沿岸にて実施予定
	三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ サポーター向け講座(新規)	サポーターの三河湾への関心・理解をより高め、三河湾の環境保全活動への参加を促すための講座を開催する。		2回開催
	油ヶ淵電子図書館	県や市民グループ等による油ヶ淵流域水環境モニタリングの調査結果等を公開し、水質改善に向けた取組を発信する。	アクセス件数 7,774件(1月末)	—
	環境学習スタンプラリーの実施	愛知県環境学習施設等連絡協議会(AELネット)に加盟している県内の環境学習施設等と連携して環境学習スタンプラリーを実施する。	開催期間:30.6～H31.2 参加施設数:172施設等	開催期間:31.6～H32.2 参加施設数:178施設等
	もりの学舎自然体感プログラム	「もりの学舎(まなびや)」及びその周辺フィールド等において、インタープリター(森の案内人)を活用し、自然体感プログラム等を実施する。	主に土日祝	同左
	もりの学舎キッズクラブ	小学生約100人を対象に、もりの学舎及び連携企業のフィールドで環境学習活動を実施する。	小学生110名 通年	小学生100名 通年
	もりの学舎ようちえん	未就学児童とその保護者を対象に、四季を通じた自然体感プログラムを実施する。	親子30組	親子30組
	プラザ環境学習講座(県民向け)	あいち環境学習プラザ等において県民を対象にした環境学習を実施する。	夏・冬休み講座等 31講座/年	約30講座
化学物質セミナー	化学物質の適正な管理を一層推進するための事業者向けセミナーや、化学物質による暮らしや健康への影響などについて、理解を深めるための県民向けのセミナーを開催する。	事業者向けセミナー 県民向けセミナー 計2回	事業者向けセミナー 県民向けセミナー 計2回	
(3) 学校向け				
ア 幼稚園・保育園等	一日もりの学舎ようちえん	県内の保育所・幼稚園等の園児を対象に、1日コースの「五感を使った自然体験」プログラムを実施する。	11団体	10団体
	森の伝道師派遣	県内各地の保育所・幼稚園等の求めに応じ、森の魅力を伝える伝道師としてインタープリターを派遣して、それぞれの場所に応じた自然体感プログラムを実施する。	16団体	15団体
	指導者の養成研修	保育士、幼稚園教諭等を対象に、幼児期における自然体験の重要性を理解し、自然体感プログラムを提供できるノウハウ等を身に付ける研修を実施する。	54名(尾張と三河の2コース)	60名(30名×2コース)

区分	事業名	事業概要	平成30年度実績	平成31年度予定
イ 小中学校	環境学習副読本の作成・配付	小学校高学年で使える環境学習副読本を作成し、県内の小学校4年生(名古屋市立は各校1冊)に配付する。	小学高学年用 56,500部	小学高学年用 56,000部
	プラザ環境学習講座	「あいち環境学習プラザ」や小中学校への出前により、環境学習講座を実施する。	6講座	希望に応じて実施
	ストップ温暖化教室 (主に小学生)	地球温暖化防止活動推進員を小学校に派遣し、地球温暖化防止に関する出前授業を実施する。また、一般向けにも地球温暖化防止に関する講座を実施する。	106回(3,558人)	200回程度
	海岸漂着物等地域対策推進事業(減量化・普及啓発推進事業) (主に小中学生)	海ごみについて、知り、考え、行動してもらうため、海ごみ削減の環境学習プログラムや啓発動画等を用いて啓発を行い、県民の意識向上を図る。	啓発動画「知ってる? あいちのうみのコト〜カップの清吉と学ぶ「海ごみ」問題〜」を作成し、WEBサイトから配信。	モデル事業として、平成30年度に作成した啓発動画を活用して、学校で環境学習に関する授業を実施。
	食品ロス削減推進事業 (H31は主に小中学生)	食品ロスの実態を伝え、食品ロス削減のために何ができるかを考えて行動へつなげるため、普及啓発プログラム等を作成・活用して食品ロス削減に向けた啓発を行う。	食品ロスシンポジウムの開催。(県民向け)	[啓発プログラムの作成] ・動画等の作成・公開 ・絵本もしくは紙芝居の作成等
	地域環境リーダー出前講座	地域の小中学校を対象に、身近な自然環境を題材とした自然環境学習講座を実施する。	1回、37名(自然環境フィールドエコツアー)	地域環境リーダーによる講座を実施
	野生生物保護実績発表大会 (主に小中学生)	野生生物保護への関心と理解を深めるため、児童・生徒等が行っている野生生物の調査や保護活動の発表会を実施し、優秀な団体を全国大会へ推薦する。	8月2日実施、8団体参加、全国大会へ2団体推薦	8月実施予定
	愛鳥週間ポスター募集 (主に小中学生)	野生鳥類の保護思想を高めること等を目的に、児童・生徒からポスター原画を募集し、優秀作品を全国コンクールへ送付する。	応募総数30,966点、全国大会へ30点送付(うち1点入選)	H30年度と同様に実施予定
	三河湾環境学習会	県立三谷水産高校実習船「あい丸」に乗船し、三河湾の水質や底質を実際に調査することで、三河湾の現状や環境を学び三河湾の里海再生への関心を高める。	台風接近による荒天のため中止	夏頃に三河湾沿岸にて実施予定
水質パトロール隊事業	県内の小中学生が、身近な水辺の水質や生きものを調査した上で、活動の様子や調査結果のレポートを作成する。	42グループ	50グループ	
ウ 高校	高校生環境学習推進事業(あいちの未来クリエイティブ部)	高校生が、大学・NPOなどの支援を受けながら環境問題に関するテーマを調査・研究し、その結果を基に地域に向けた環境学習教材を作成・普及する。	3グループ(3校)	3グループ(3校)
	自然の魅力発見ツアーガイド体験事業(高校生、大学生)	東三河地域の高校生、大学生等を対象に、エコツアーの企画から実施までを体験する事業を実施する。		地域環境リーダーによる体験事業を実施
エ 大学	持続可能な未来のあいちの担い手育成事業(かがやけ☆あいちサステイナ研究所)	「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」により、大学生を対象に、企業・団体と連携して行う、次世代の担い手となる環境リーダーを育成する。	大学生40名、パートナー企業10社	大学生40名、パートナー企業10社
(4) 社会向け(事業者、NPO、地域コミュニティ、行政)	あいち環境塾	企業・団体・行政など、各分野で活躍する持続可能な地域づくりの環境リーダーを育成する。	塾生20名	塾生20名
	地区間交流会	生態系ネットワークに関する9地域協議会の取組事例を取りまとめ、取組における成果と問題点を発表するとともに、目標年次に向けての方向性を検討する。これにより効果的なノウハウの相互共有化を図り、各協議会や地域活動関係等の活動の質の向上と活性化を目指す。	平成31年2月16日(土) 場所:刈谷市産業振興センター 参加者数:約50名	2020年1月頃 場所:未定
	油ヶ淵水環境モニタリング	油ヶ淵及び流域河川において、地域住民がCODなどの調査を行うことで、水の汚れを把握するとともに生活排水対策への関心を高める。	18グループ	17グループ
	あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業	あいち森と緑づくり税を財源に、NPOや行政等が実施する森と緑の保全活動や森と緑を社会全体で支える機運を醸成する環境学習を支援し、その取組みの進展を図る。 生態系ネットワーク形成の取組成果を見える化するための、県民参加によるモニタリング調査する。	交付対象件数115件	交付対象予定件数 82件
2 連携・協働の強化	環境学習コーディネート事業	環境学習の連携・協働に関する相談業務や連携・協働先の紹介・マッチング業務を実施することで各主体の橋渡しを行う。	34件	25件以上
	環境教育 協働授業づくり研修	県内のNPO、事業者、教員等を対象に学校と連携して子供たちのニーズに沿った環境教育を行うための研修を実施する。	55名(名古屋市1回、豊橋市1回)	40名(尾張1回、三河1回)
	温暖化まなびネット	低炭素社会の構築に必要な環境学習を実施できる講師等を募集し、その情報を県のホームページで公開して県民等に活用してもらう。	講師等の登録件数:30件	講師等の登録件数:40件
	中高年・シニア環境学習推進事業(あいちecoティーチャー)	中高年・シニア世代を対象に環境学習の講師「あいちecoティーチャー」を養成する。 平成30年度に養成した「あいちecoティーチャー」を活用して、県内の環境学習施設などで環境学習講座を実施する。〈新規〉	28名養成 5講座を作成し、冬休みに実施	—
				10回以上

(備考) ・網掛けは五つの力の評価対象事業(資料3参照)
・ゴシック体の事業は、新規事業